



今月のテーマ 『ロータリー財団月間』

第1453回例会

2016年11月17日 Vol.31/No.17

■本日の例会 / 第1454回 平成28年11月24日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告 ……………各委員長
- 例会終了後 かぐら月 夜間例会
……………コテージヒムカ 18:30～

【出席率状況報告】

- ・会員数 ……………54名
- ・出席者 ……………33名
- ・欠席者 ……………21名
- ・出席率 …………… 61.11%
- ・10/27の修正出席率… 83.33%

■会長挨拶

会長 香川美穂子



こんにちは！今月は第1週目が祭日のため休会でしたので、今日は月半ばではありますが11月第2例会日にあたります。クラブ規定により12月第2例会（12月8日）には総会を開催し次年度の理事役員の選挙をすることになっております。本日は11月第2例会日ですので、規定により「次次期会長・次期副会長・幹事・会計及び5名の理事候補者（クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の各委員長）を本クラブの指名委員会の承認のもと総会時に指名する事を、会長として宣言致します。

指名委員会は規定により、直前会長から選る5名の会長ならびに現年度会長、次年度会長（会長エレクト）の7名によって構成されます。そして指名委員会委員長が12月の総会直前の理事会に候補者の氏名を提出するという流れです。このようにクラブの運営はクラブ定款、細則・規定によって決められております。規定につきましては前年度6月2日に臨時総会が開催され一部改正されました。そこで承認された規定が9月15日に配付されておりますが、記述の仕方がきちんとした体をなしておりません。前年度の会長・幹事の責任として印刷し直し皆さまに配布をお願いします。配布されましたら良い機会ですので、皆さんも是非良くお読み下さい。

12月の総会を迎えますといよいよ今年度もあと半分と言う感じですね。1年という任期はやっと職責がわかってきた頃に終了で、あっという間の任期です。メンバーの少ないクラブでは「私は会長3回目ですよ」と言う強者もおられますが、それぐらいなさるとよくお分かりで十分にお役目を果たすことができるだろうと思います。私はモットーを「基本を守りつつ改良を厭わず」と掲げ

ております。本日皆さんのボックスにアンケート用紙が配られていると思います。「今更こんなアンケートを任期半ばにしてするのはどんな意味か」との声も有りました。皆さんも勿論そうでしょうが、私と江藤幹事はクラブライフを充実したものの「入会して良かった」と言えるものになりたいと思っております。皆さんの本心、忌憚のないお考えを聞かせて頂き、本当に楽しい有意義なクラブライフにして行きたいのです。アンケートの実施は昨年度から考えておりましたが、それぞれが仕事をしながらしかも初めての役職をこなしながらですからこの時期となってしまいました。そのあたりの時間的制約などは、会長や幹事をなさった方が多くおられるのですから良くお分かりの事と思えますし又そこをも思いやった上でのご質問やご助言こそがロータリアンとしての慎みと思っております。私はアンケートを実施し、会費の事・例会場の事も踏まえて皆さんが気楽に負担のない例会出席をしていただけるような環境整備をすることこそが「会員増強・出席率向上」の要と考えております。ビジネスも同じと思いますが、自分が納得・満足し無いものは人様にはお勧めできません。そのために皆さんの考えを聞きたいわけです。理事会では「会費の支払い方法を変えれば」とか「神田橋からここへ会場を変えた時に食事代を安くした」とかの声も聞きましたが、その時はそうであっても今は又状況が変わって来ていると思えますし、更により良い環境を整えられるのならそれに越した事はないと思うのです。たった1年の任期ですから何もせず、前からの形のままじっとしているのは楽です。でもそれではあまりに会員に対して怠慢・無責任だと思うのです。出席率とか会員増強とか他のクラブと比較して数字を追うのも結構ですが、その前に「本当に参加したいクラブの環境か？メンバーに余計な負担のか

からない心地良いクラブか？」という根本的な事をチェックして整えないと新しい方をお誘いするのも躊躇致します。ロータリアンは職業人ですしロータリークラブはその職種を代表する人々がさらなる人間としての成長を遂げるために多くの人々と交わるためのクラブです。ですから仕事に影響の出るような経済的・時間的負担は極力避けるべきだと私は考えております。そうしないと面白くなり足も遠のきます。足が遠のいた人に「出て来て」と誘うとますます嫌気がさし結果退会となるのではないのでしょうか？宮崎市内には他にもロータリークラブはあります。その中でどう中央ロータリークラブが存続するか？どうしたら会員が誇りを持って新しい方をお誘いできるかを考える為に、今回のアンケートに本当のお気持ちをお書き頂きたいと思っております。ロータリアンとしての誇り品格は、そこに集う人々の人間性であり活動内容です。よろしく御願ひ致します。

■幹事報告

幹事 江藤敏治



皆さま、こんにちは。江藤です。最近暖かい日々が続いていて嬉しい気持ちで溢れております。本日会員満足度アンケートをお配りしました。忌憚なきご意見をお寄せください。12月8日の総会までにご提出ください。それでは幹事報告です。「治療と職業生活の両立支援のためのセミナー」が12月9日県医師会館にて、なでしこ全体集会在今週11月20日に鹿児島にて、第2回地区連絡協議会が12月4日加治木にて、米国際ロータリー年次大会が年6月米国アトランタにて開催されます。是非ご参加ください。最後に国際ロータリークラブから当クラブが表彰されました。うれしいことです。

■ロータリー財団年間について

ロータリー財団委員会 委員長 湯浅 敏幸



ロータリー財団への寄付が具体的にどのような活動に役立てられているか、ご紹介した画像でした。ロータリーでは、クラブ会員の寄付や財政支援を通じ、R活動の活性化を図っていますが、会員の方々にポール・フェロー取得やベネファクター会員になって頂くことで、R財団

を支え続けています。昨年度は設立30周年記念事業の一環として、会員全員にポール・フェローを取得して頂きました。その反動もあって、今年度は財団への財政支援が低調で今後、会員の方々への協力依頼をお願いしなければなりません。個人的に各個撃破作戦で頭を下げて回りますので、どうぞ煙たがらずに話だけでも聞いて下さい。よろしく御願ひ致します。

会員卓話

江口健一 会員



ロータリーに入会して5年目になります。今日は、自己紹介を致します。

1966年11月25日生まれ。ひのえうま年 今年でちょうど50歳になります。宮崎市育ちで18歳から有限会社フジサン包装で包装資材販売を営んでいます。32年目を迎える事が出来ました。

今後とも事業にロータリーに励んでいきますので宜しく御願ひ致します。

会員卓話

押川純一郎 会員



トライアスロンワールドカップ宮崎大会開催

平成28年10月29日、宮崎神宮大祭と同じ日、トライアスロンワールドカップが開催されました。九州では実に20年ぶり、宮崎で初めての開催です。

この大会は、トライアスロン大会の最高峰「世界トライアスロンシリーズ」に続く世界転戦シリーズで、世界ランキングやオリンピック国別出場枠のポイントに反映される重要な大会となっています。

ワールドカップが宮崎で開催されることになったのは、宮崎中央ロータリークラブが、第1回大会から協力支援してきたシーガイアトライアスロン大会が大きな影響を与えています。オーシャンドームをスイム会場とした世界初インドア型の大会として、19年前にスタートしたシーガイア大会は、トライアスロン＝過酷な鉄人レースという概念を取り払う、誰でもチャレンジ出来る大会として、今日、広く知られるようになりました。

現在、ドームの閉鎖に伴って、臨海公園を会場としていますが、初心者にも優しい大会としての

発行/宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/香川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敏治